



「セミの羽化 観察会」を行いました！

昨日、都立善福寺川緑地公園緑陰広場で区立大宮児童館と成田児童館の合同行事、「セミの羽化 観察会」が行われました。この催しは、生命の神秘的な営みに触れ、親子で命を尊ぶ心を育んでもらおうと開催されたもので、参加した27組70人の親子は、セミが徐々に羽化していく姿を興味津々と観察していました。

セミの羽化は、一つの生命体に変態して成虫になっていく様子を生き生きと美しく見せる神秘的な営みです。緑豊かで区民の憩いの場となっている都立善福寺川公園では、都会にありながら、園内で毎年7月下旬から8月初旬に、多くのセミの羽化を観察することができます。

「セミの羽化 観察会」は、身近なところで、その神秘的な姿に触れ、親子で命を尊ぶ心を育む機会をもってほしいと、大宮児童館で平成21年に始まり(成田児童館と合同で始まったのは平成23年)、今年で6回目を迎え、毎年多くの親子が参加しています。



セミの幼虫は夕方から地上に出てきて、日が沈んだ頃に木へ登り羽化を始めることから、18時30分ごろに観察会が始まりました。ボランティアとして来ていた「すぎなみ環境ネットワーク」の境原達也さんによる「セミは大変な思いで羽化しているから、触ったり木をゆすったりして落とさないように気をつけて」という注意のもと、セミのぬけがらがよくある木や枝など、羽化を観察できる可能性が高い場所を探して公園内に参加者たちは散らばりました。羽化しそうなセミが見つかったら、子供も親も夢中で懐中電灯で照らし、カメラや携帯電話で撮影をしながら興味深そうに観察していました。セミがからを破り、徐々に羽が出てくると、子どもたちはその神秘的な姿に驚きながらも、「がんばれー」「あともうちょっと」と応援していました。

観察をしたおよそ1時間30分の間、公園内の木や枝で、約150匹のセミを発見でき、アブラゼミ・ミンミンゼミ・ニイニイゼミの3種類3匹の羽化を確認することができました。観察に来ていた母親の一人は、「去年も来ているが、親子で自然に触れ合い、友達とともに感動を共有できる機会があって大変うれしい。」と自然の神秘に触れることができる喜びを話していました。

【問い合わせ先】

総務部広報課 TEL:3312-2111

成田児童館 3315-1865 大宮児童館 3315-7083